

2026年4月3日

あわら市をより豊かに!

あわら市議会議員

青柳あつし

市政報告 Vol.020

～ごあいさつ～



草木が芽吹き、春の訪れを感じる季節となりました。皆さま、いかがお過ごしでしょうか。春は新たな始まりの季節です。入園・入学、就職、転居など、それぞれの環境の変化の中で、皆さまのご活躍を心より願っております。

さて、3月定例会では新年度予算が可決され、物価高騰への対策として「生活支援商品券発行事業」が決まり、6月の発行が予定されています。これは市民生活を直接支える重要な施策です。より一層、子育て支援や地域の活性化、高齢者が安心して暮らせる環境づくりなどを進めてまいります。

市民の皆さまの声が、より良い制度をつくります。これからも「分かりやすく伝えること」と「声を届けること」を大切に、強くて、より豊かな、住み続けたくなるまちづくりに全力で取り組んでまいります。

引き続き、ご意見やご提案をお寄せいただければ幸いです。

今後とも、どうぞよろしくお願い申し上げます。

地域とともに成長する あわら のPR事業

東京駅にて、あわら市・坂井市・永平寺町とともに、観光 PR を兼ねた販売会を行ってきました。

この取り組みは 2023 年から始まり、今回で 4 年目となります。当初は私が旗振り役となってスタートした事業ですが、今では地域が一体となって取り組む事業へと成長し、多くの事業者の皆さまと一緒に行う形も定着しました。年々その広がりを感じています。

北陸新幹線の開業による注目もあり、会場は多くのお客様で賑わっていました。お客様と事業者の皆さまが直接つながる場面も多く見られるなど、この取り組みの確かな成果を実感しました。

こうした機会を通じて、あわらの知名度は着実に高まっています。

引き続き、あわらの魅力を県外の多くの人へ届けるための発信を強化するとともに、企業誘致にも粘り強く取り組み、地域の活性化につなげてまいります。



３月議会　一般質問の裏側



３月定例会が３月２日から３月 19 日までの会期で開催されました。

一般質問の裏側ということで、想い・考え方・反省点・今後をみなさまにお伝えします。なお、全文に関しては私のホームページに原文どおり掲載しています。

今回の一般質問では、「地域の力をどうつなぐか」をテーマに、質問と新たな提案を行いました。あわら市がより豊かなまちへと進む一歩にしていきたいと考えています。



コミュニティセンター構想による人材育成と地域拠点整備について

「拠点のあり方」を問う

今回の一般質問の出発点は、地域の現状に対する危機感でした。

いま、地域は静かに弱っています。産業の担い手は減り、挑戦の場は限られ、行政への依存は強まっている。この流れのままで、本当に地域は持続できるのか。その問いが、今回の質問の原点です。

一方で、現場を見ていく中で、確かに感じたこともあります。例えば福祉分野においては、福祉団体や地域団体による活動、施設の開放など、地域の中に活性化の芽がすでに生まれています。こうした取り組みを続けてこられた皆さまに、心から敬意を表します。

つまり、地域に力がないのではありません。その力がつながりきれていない、仕組みになっていない。そこに課題があると感じました。

だからこそ今回の提案は、単なる施設の話ではありません。地域の中にある力をどうつなぎ、どう育てていくのか。そのための「拠点のあり方」を問うものです。

特に重要だと考えたのが、役割の整理です。**コミュニティセンターが担っている二つの役割、福祉サービスと若者支援を明確に分け、それぞれの目的に応じた機能を持たせる必要がある**と考えました。この整理が曖昧なままでは、すべてが中途半端になり、結果として誰にも届かない仕組みになってしまいます。

行政がすべてを担う時代ではありません。しかし、地域にある力をつなぎ、仕組みとして支えることは、行政にしかできない役割です。それぞれが独立しながらもつながり、まち全体を支える力になっていく。その形をつくることが、これからのあわら市に必要だと考え、今回の一般質問に臨みました。

人材育成と地域拠点整備

市政よろず相談室

みなさんのご意見をお聞かせください。

- 一般質問へのご意見
- 子育て支援　●地域活性化
- 人口減少



メール・FAX は 24 時間受付
mail：**atsushi@a-aoyagi.com**
FAX：**0776-73-5539**
TEL：**0776-73-0313**

青柳篤始事務所　〒919-0633 あわら市花乃杜一丁目1-17　TEL:0776-73-0313　mail:info@a-aoyagi.com

防災減災対策特別委員会

命を守る防災ＤＸ
ー 新しい安否確認のかたち ー

防災・減災につながる体制づくりについて、本委員会で検討を進めています。その中で私は、災害時の混乱の中でも「一人ひとりの状況を正確に把握できる仕組みが必要だ」と感じ、**マイナンバーカードを活用した新しい安否確認の仕組みを提案**しました。

もしもの災害のとき、まず必要になるのは安否確認です。家族が被災したとき、「無事かどうか」を知りたいと思うのは当然のことです。同じように、市全体が被災した場合も、市民一人ひとりの安否を確認することが、最初に行う大切な仕事になります。

しかし現在は、避難所での受付や名簿の管理の多くが紙で行われています。そのため、確認や集計に時間がかかり、災害時の混乱の中では大きな負担となることが想定されます。

そこで提案したのが、マイナンバーカードを活用した新しい安否確認の仕組みです。避難所でカードをかざすだけで受付ができるよう整備し、誰がどこに避難しているかをすぐに確認できるようにします。この仕組みにより、必要な支援をより早く届けることが可能になります。

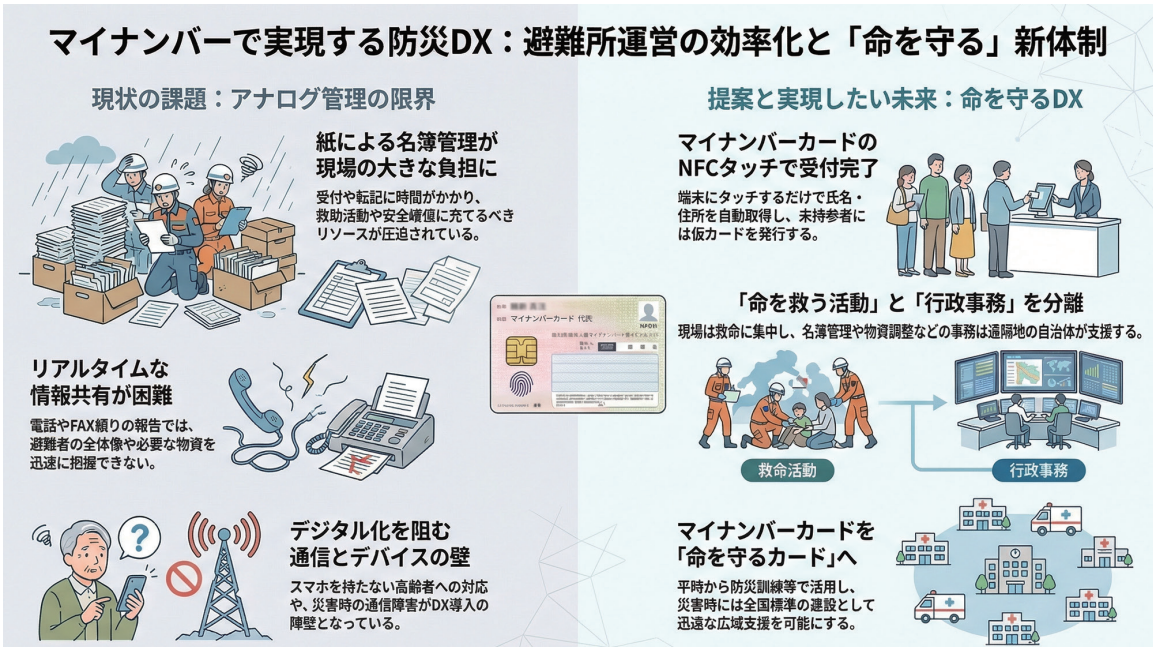


マイナンバーカードを「命を守るカード」として活用することで、情報の整理をデジタルで支え、現場は人命救助に集中する。そうした新しい防災の形を、あわら市から発信していきます。

また、カードを持っていない方は仮のカードで対応できるようにするなど、誰一人取り残さない体制づくりも同時に検討しています。

こうした取り組みを進めるためには、市民の皆さまの理解と協力が欠かせません。日頃からの備えとともに、防災への関心を持っていただくことが、いざという時の安心につながります。

全国に先がけた取り組みとして、この「あわらモデル」の実現を目指してまいります。



活動報告

Activity Reports


稲田衆議院議員と


左義長 大鳥神社にて



森市長と



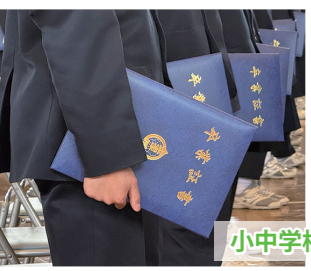
はたちのつどい



行橋市議会議員と


出初め式


金津高校探究学習発表会



小中学校卒業式

車座座談会



会場募集

自治会の役員会や集会の場にお声がけください。地域の課題やご意見を直接伺いにまいります。

編集後記

4月から、わが家の娘も新生活をスタートしました。子どもの姿を見ていると、月日の流れの早さを改めて実感します。

子どもが生まれたときから、私が続けてきたことについて、ここで再度触れておこうと思います。それは、誕生日に必ず本を贈っていることです。上の子はこの春、新社会人となりましたが、大人になった今も変わらず本を贈れることに、静かな喜びを感じています。



子どもたちの成長に、親としての時間の重みを感じますが、これからも思いを込めて本を贈り続け、子供と本と一緒に歩んでいきたいと思います。